

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ
 コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 文彦
 (氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	1,071	9.9	59	1.7	61	25.1	26	△17.6
24年6月期第2四半期	975	3.9	58	48.1	49	12.2	32	79.6

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 32百万円 (8.6%) 24年6月期第2四半期 29百万円 (74.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	238.37	—
24年6月期第2四半期	289.18	289.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	1,315	629	47.9	5,649.80
24年6月期	1,218	619	50.9	5,558.90

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 629百万円 24年6月期 619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	200.00	200.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	250.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	4.0	110	3.0	90	19.7	70	39.2	628.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	113,321 株	24年6月期	113,321 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	1,861 株	24年6月期	1,861 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	111,460 株	24年6月期2Q	111,460 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や底堅い内需が下支えとなり緩やかな回復基調が継続しているものの、欧州や、これまで牽引役となっていた中国の経済成長が減速していくなか、世界経済の先行きはますます不確実なものとなっております。

当社グループが属する美容業界は、他のサービス業と比較して景気の影響を受けにくい業種ではあるものの、若年層人口や若年層を中心とした可処分所得の減少などにより依然として厳しい環境におかれております。

このような状況のもと、当社グループは、地道に人材を育成し堅実な経営を行うとともに、第1四半期連結累計期間より開始した新規BSサロン（フランチャイズサロン）への店舗設備リーシングが堅調に推移し、BSサロン運営事業を中心に売上高、営業利益ともに増収増益となりました。

一方で、特別損失として、ジャパン・スプレッド・パートナーズ投資事業組合の清算にともなう投資有価証券清算損が7,315千円発生いたしました。また、モッズ・ヘア銀座四丁目店が現在営業を行っているサッポロ銀座ビルの建て替えが決定し、同店が平成25年5月末日をもってプランタン銀座に移転すること、及びモッズ・ヘア名古屋栄店が現店舗での営業を一旦取りやめることによる減損損失が24,309千円発生いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,071,655千円（前年同期比9.9%増）、営業利益59,612千円（前年同期比1.7%増）、経常利益61,797千円（前年同期比25.1%増）、四半期純利益26,568千円（前年同期比17.6%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

（直営サロン運営事業）

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン18店舗、準直営サロン（業務委託サロン）2店舗の計20店舗を展開しております。

直営サロン運営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、676,250千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は、15,335千円（前年同期比22.6%減）となりました。

（BSサロン運営事業）

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。国内では平成24年9月に福岡天神西通り店をオープンし、海外では韓国においてインチョン（Incheon）にノンヒョン（Nonhyun）店、ソンド（Sondo）店の2店舗を平成24年8月にオープンし、同年10月にヤンピョン（Yangpeyong）店をクローズしました。その結果、第2四半期会計期間末日現在において、国内71店舗、韓国20店舗、台湾3店舗の計94店舗となっております。

BSサロン運営事業におきましては、第1四半期連結累計期間より、意欲のあるスタイリストの独立や既存BSオーナーの事業拡大を財務面で支援し、BSサロンの新規出店を促進するために店舗設備リーシングを開始しました。その結果、リース売上高が93,682千円発生し、売上高は合計で360,273千円（前年同期比47.5%増）となりました。その一方で、リース売上に対応するリース売上原価及び繰延リース利益繰入額が合計で88,874千円計上され、また、当第2四半期連結累計期間は、前年開催を自粛した「モッズ・ヘアコレクション」にかかわる費用が発生したため、前年に比べ販売費及び一般管理費が大幅に増加いたしました。その結果、セグメント利益は、147,898千円（前年

同期比9.3%増) となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」をはじめ世界4大コレクション及び「東京コレクション」への参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

また、当第2四半期連結累計期間より、ブライダルにかかわるヘアメイクの取り組みを開始しました。

当第2四半期連結累計期間は、前連結会計年度から引き続き若手ヘアメイクアーティストを中心に受注数が伸びたことなどが寄与し、売上高は、84,787千円（前年同期比15.8%増）となりましたが、人件費などが増加したためセグメント利益は、2,980千円（前年同期比61.6%減）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、国内91店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数は順調に伸びておりますが、それ以外の業務提携料収入などが減少したため、その他の当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,684千円（前年同期比18.5%減）、セグメント利益は、5,643千円（前年同期比45.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ96,849千円増加し、1,315,280千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の増加19,297千円、クレジット未収入金などの未収入金の増加79,897千円、減価償却及び減損処理などによる有形固定資産の減少68,708千円、リース投資資産などの投資その他の資産の増加52,274千円などによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ86,717千円増加し、685,553千円となりました。主な要因としましては、買掛金の増加13,876千円、クレジット未払金などの未払金の増加68,269千円などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10,131千円増加し、629,726千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益26,568千円、配当金の支払22,292千円、投資事業組合の清算によるその他有価証券評価差額金の増加5,854千円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて19,297千円増加し、204,569千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は28,875千円（前年同四半期は得られた資金84,845千円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益32,389千円、減価償却費19,564千円、減損損失24,309千円、リース投資資産の増加41,461千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は14,345千円（前年同四半期は得られた資金25,667千円）となりました。これは主に出資金の分配による収入17,546千円、差入保証金の回収による収入3,870千円及び差入保証金の差入による支出6,660千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は24,154千円（前年同四半期は使用した資金101,056千円）となりました。これは配当金の支払い21,636千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年8月20日付「平成24年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	185,272	204,569
売掛金	94,160	110,575
商品	81,650	75,327
未収入金	247,832	327,730
繰延税金資産	47,433	51,250
その他	36,889	38,491
貸倒引当金	△5,054	△6,166
流動資産合計	688,183	801,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	445,703	398,650
減価償却累計額	△232,721	△247,130
建物及び構築物 (純額)	212,981	151,519
工具、器具及び備品	96,922	91,771
減価償却累計額	△71,985	△73,652
工具、器具及び備品 (純額)	24,937	18,118
その他	6,034	6,034
減価償却累計額	△2,546	△2,975
その他 (純額)	3,487	3,059
有形固定資産合計	241,406	172,697
無形固定資産		
のれん	2,925	2,437
その他	39	216
無形固定資産合計	2,965	2,654
投資その他の資産		
投資有価証券	27,256	10,775
関係会社株式	—	6,645
長期貸付金	62,017	67,106
差入保証金	244,854	246,690
リース投資資産	—	63,494
繰延税金資産	10,928	9,259
破産更生債権等	50,407	50,407
その他	4,248	2,697
貸倒引当金	△113,837	△118,926
投資その他の資産合計	285,876	338,150
固定資産合計	530,247	513,502
資産合計	1,218,431	1,315,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,902	24,779
未払金	307,917	376,186
未払費用	43,088	50,057
未払法人税等	8,034	7,870
未払消費税等	13,108	12,743
ポイント引当金	1,438	2,591
その他	16,670	24,096
流動負債合計	401,161	498,324
固定負債		
長期末払金	48,370	44,375
受入保証金	148,240	142,240
その他	1,064	614
固定負債合計	197,675	187,229
負債合計	598,836	685,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	46,558	50,835
自己株式	△25,737	△25,737
株主資本合計	625,435	629,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,840	14
その他の包括利益累計額合計	△5,840	14
純資産合計	619,594	629,726
負債純資産合計	1,218,431	1,315,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	975,544	1,071,655
売上原価	728,721	809,668
売上総利益	246,822	261,986
販売費及び一般管理費	188,218	202,373
営業利益	58,604	59,612
営業外収益		
受取利息	126	40
為替差益	—	2,089
貸倒引当金戻入額	514	—
受取遅延損害金	406	215
還付加算金	367	—
その他	152	52
営業外収益合計	1,568	2,397
営業外費用		
支払利息	609	—
為替差損	1,176	—
投資事業組合運用損	8,906	—
その他	96	213
営業外費用合計	10,788	213
経常利益	49,384	61,797
特別利益		
事業譲渡益	2,214	—
資産除去債務戻入益	—	2,216
その他	171	—
特別利益合計	2,385	2,216
特別損失		
投資有価証券清算損	—	7,315
減損損失	—	24,309
特別損失合計	—	31,624
税金等調整前四半期純利益	51,770	32,389
法人税、住民税及び事業税	4,243	7,967
法人税等調整額	15,294	△2,147
法人税等合計	19,538	5,820
少数株主損益調整前四半期純利益	32,231	26,568
四半期純利益	32,231	26,568

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,231	26,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,373	5,854
その他の包括利益合計	△2,373	5,854
四半期包括利益	29,857	32,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,857	32,423
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	51,770	32,389
減価償却費	22,566	19,564
減損損失	—	24,309
のれん償却額	487	487
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△514	1,154
事業譲渡損益 (△は益)	△2,214	—
受取利息及び受取配当金	△126	△40
支払利息	609	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,109	△17,855
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△583	6,323
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,139	13,876
投資事業組合運用損益 (△は益)	8,906	—
投資有価証券清算損益 (△は益)	—	7,315
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	261	1,152
未払消費税等の増減額 (△は減少)	263	△365
資産除去債務戻入益	—	△2,216
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△41,461
その他	177	△7,706
小計	72,355	36,924
利息及び配当金の受取額	110	82
利息の支払額	△586	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	12,965	△8,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,845	28,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△500
事業譲渡による収入	1,217	—
差入保証金の差入による支出	—	△6,660
差入保証金の回収による収入	12,000	3,870
出資金の分配による収入	12,450	17,546
その他	—	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,667	14,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
割賦債務の返済による支出	△4,855	△2,518
長期借入金の返済による支出	△80,004	—
配当金の支払額	△16,197	△21,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,056	△24,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	230
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,361	19,297
現金及び現金同等物の期首残高	255,347	185,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	264,709	204,569

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	696,456	244,336	73,236	1,014,029	24,141	1,038,170	△62,626	975,544
セグメント利益	19,801	135,286	7,763	162,852	10,323	173,175	△114,570	58,604

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△114,570千円には、棚卸資産の調整額441千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,012千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年7月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	676,250	360,273	84,787	1,121,311	19,684	1,140,996	△69,340	1,071,655
セグメント利益	15,335	147,898	2,980	166,215	5,643	171,858	△112,245	59,612

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△112,245千円には、棚卸資産の調整額△446千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,799千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営サロン運営事業」セグメントにおいて、移転等により将来キャッシュ・フローが減少する見込みの店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額して、減損損失を計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において24,309千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。